

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

ソフトボール

2025年/令和7年

第485号

7月号

(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L. 03-5843-0480 F A X. 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L. 03-3811-6911 F A X. 03-3811-6290



アジアから
世界へ

第2回男子U23アジアカップで「全勝優勝」を飾った大学男子日本代表

C o n t e n t s

・第2回男子U23アジアカップ	2	・令和7年度第1回理事会議事録	16
・第54回日本男子リーグ第2節	4	・令和7年度第2回理事会議事録	22
・ニトリ JD.LEAGUE 2025 第6節～第9節	8	・令和7年度第1回定時評議員会議事録	24
・天候に悩まされながらも懸命の大会運営	14	・事務局だより	28

公益財団法人 日本ソフトボール協会オフィシャルホームページ

www.softball.or.jp

第2回男子U23アジアカップ

2025年6月2日（月）～5日（木） タイ・バンコク



全勝でアジアの「頂点」へ！



去る6月2日（月）～5日（木）、タイ・バンコクで「第2回男子U23アジアカップ」が開催され、U23大学男子日本代表が「全勝優勝」。「アジアの頂点」に立ち、来年4月25日（土）～5月3日（日）、コロンビア・シンセレホで開催される「第2回男子U23ワールドカップ」の出場権も獲得した。

大会には、ホストチームであるタイをはじめ、香港、インド、シンガポール、マレーシア、日本の6チームが出場。シングルラウンドロビン方式（1回総当たり）の予選リーグにあたる「オープニングラウンド」を戦い、1位～6位の順位を決定。その順位に基づき、5位と6位が「5位決定戦」、3位と4位が「ブロンズメダルゲーム」（3位決定戦）、1位と2位が「ゴールドメダルゲーム」（優勝決定戦）を行う試合方式で覇が競われ、上位2チームに「第2回男子U23ワールドカップ」本大会への出場権が与えられた。

U23大学男子日本代表はマレーシアに15－0、香港に21－0、タイに15－0、シンガポールに9－0、インドに9－0と「オープニングラウンド」を5戦全勝の1位で駆け抜け、「ゴールドメダルゲーム」（優勝決定戦）で「オープニングラウンド」2位のシンガポールと対戦。9－2で5回コールド勝ちし、6戦全勝で「アジアの頂点」に立った。

第2回男子U23アジアカップ 日本戦試合結果



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

第2戦 HONG KONG 0-21 JAPAN

第1戦 JAPAN 15-0 MALAYSIA



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

第4戦 JAPAN 9-0 SINGAPORE

第3戦 JAPAN 15-0 THAILAND



[試合レポートはこちら](#)



[試合レポートはこちら](#)

優勝決定戦 JAPAN 9-2 SINGAPORE

第5戦 INDIA 0-9 JAPAN



アジアの大切な「仲間」とともに「前へ」進め！



大会出場メンバー、試合結果の詳細はこちら

◆第54回日本男子リーグ第2節◆



第2節では、開幕4連勝の好スタートを切った3チーム（※Honda、平林金属、山口水産）の内、平林金属が3勝1敗／通算成績7勝1敗と勝ち星を伸ばし、「単独首位」に浮上。その平林金属をHondaが通算6勝2敗で追いつき、3位グループはデンソー、ジェイテクト、旭化成、三重ヴェルデウィン、高知パシフィックウェーブ、大阪桃次郎、山口水産の7チームが通算5勝3敗で並ぶ「大混戦」の様相。同率10位に通算4勝4敗のトヨタ、豊田自動織機、愛媛ウエスト、同



激しさを増す「全18チーム」の順位争い

「第54回日本男子ソフトボールリーグ」第2節が、去る5月31日（土）・6月1日（日）の両日、鹿児島県鹿児島市・福岡県京都郡みやこ町を舞台に開催された。

率13位に通算3勝5敗の埼玉県庁クラブ、大阪・堺グローバル、同率15位に通算2勝6敗のSAGAダイワアクト、日本エコシステム、安川電機が位置し、熊本嶋田クラブは未だ勝利なしの8連敗と苦しい状況が続いている。

また、今号の発行・公開時期(7月10日)にはカナダ・プリンスアルバートで「第18回男子ワールドカップフアイナル」開催中。男子TOP日本代表が「世界の強豪」(※大会にはアルゼンチン、オーストラリア、日本、カナダ、ベネズエラ、アメリカ、ニュージーランド、ドミニカ共和国の8チームが出場)相手にまさに「ハイレベル」な熱戦・激闘を繰り広げていることだろう。

男子TOP日本代表チーム(選手16名)はすべて「日本リーグ所属選手」で編成されており、海外から参戦中の世界的ビッグネーム(※前回大会「優勝投手」に輝いたジャック・ベスグローブ、そのベスグローブとバッテリーを組むジョシュ・マクガバンはオーストラリア代表として「連覇」を狙う。かつて世界選手権(現・ワールドカップ)3連覇を成し遂げたレジェンドを父に持つピタ・ロナ、ライリー・マケアはニュージーランド代表として母国の「躍進・復活」をかけ戦う)にも、ぜひ注目してもらいたいところだ。

「第54回日本男子ソフトボールリーグ」第2節、全チームの勝敗・順位は7頁の通りで、第3節は8月29日(金)〜31日(日)の3日間、高知県高知市・三重県熊野市・御浜町において開催される。





「大混戦」の様相…
この後どうなる??

◎第2節終了時点 全チーム勝敗・順位

1位	平林金属	7勝1敗
2位	Honda	6勝2敗
3位	デンソー	5勝3敗
//	ジェイテクト	5勝3敗
//	旭化成	5勝3敗
//	三重ヴェルデウィン	5勝3敗
//	高知パシフィックウェーブ	5勝3敗
//	大阪桃次郎	5勝3敗
//	山口水産	5勝3敗
10位	トヨタ	4勝4敗
//	豊田自動織機	4勝4敗
//	愛媛ウエスト	4勝4敗
13位	埼玉県庁クラブ	3勝5敗
//	大阪・堺グローバル	3勝5敗
15位	SAGAダイワアクト	2勝6敗
//	日本エコシステム	2勝6敗
//	安川電機	2勝6敗
18位	熊本嶋田クラブ	0勝8敗

※上位5チームが決勝トーナメントに進出



◆鹿児島大会◆

【大会第1日(5月31日) 試合結果】

デンソー 2-0 山口水産
SAGA ダイワアクト 2-1 日本エコシステム
埼玉県庁クラブ 6-3 熊本嶋田クラブ
旭化成 12-1 山口水産
Honda 2-1 SAGA ダイワアクト
大阪桃次郎 13-7 熊本嶋田クラブ
旭化成 7-1 埼玉県庁クラブ
デンソー 4-2 Honda
日本エコシステム 2-0 大阪桃次郎

【大会第2日(6月1日) 試合結果】

デンソー 2-1 SAGA ダイワアクト
山口水産 10-2 埼玉県庁クラブ
旭化成 1-0 日本エコシステム
埼玉県庁クラブ 8-3 SAGA ダイワアクト
大阪桃次郎 2-0 Honda
デンソー 4-0 熊本嶋田クラブ
旭化成 4-1 熊本嶋田クラブ
大阪桃次郎 4-0 山口水産
Honda 3-1 日本エコシステム

◆福岡大会◆

【大会第1日(5月31日) 試合結果】

安川電機 1-0 三重ヴェルデウィン
トヨタ 7-2 愛媛ウエスト
高知パシフィックウェーブ 9-1 大阪・堺グローバル
平林金属 17-0 安川電機
ジェイテクト 10-0 トヨタ
豊田自動織機 3-0 大阪・堺グローバル
平林金属 11-1 愛媛ウエスト
三重ヴェルデウィン 2-1 高知パシフィックウェーブ
ジェイテクト 5-2 豊田自動織機

【大会第2日(6月1日) 試合結果】

安川電機 7-4 ジェイテクト
高知パシフィックウェーブ 8-3 トヨタ
三重ヴェルデウィン 6-2 愛媛ウエスト
大阪・堺グローバル 3-2 ジェイテクト
平林金属 1-0 高知パシフィックウェーブ
三重ヴェルデウィン 7-5 豊田自動織機
愛媛ウエスト 4-0 大阪・堺グローバル
トヨタ 4-3 平林金属
豊田自動織機 7-1 安川電機

第2節の詳細レポート、 ダイジェスト動画はこちら！



戸田中央 16勝2敗
首位の座堅持

東地区



ニトリ
JD.LEAGUE

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第6節～第9節

西地区



トヨタ 15勝3敗
首位独走

第6節

「ニトリJD・LEAGUE 2025」第6節は「東地区」が岐阜県大垣市、「西地区」が愛知県豊田市、「交流戦」が新潟県上越市の全国3会場で熱戦が展開された。

「東地区」では、快調に首位を走る戸田中央が今節も危なげのない試合運びで連勝。通算成績11勝1敗で「独走態勢」に入りつつある。

これを追うのが9勝3敗で2位のホンダ。アリー・カーダ、ジェイリン・フォードの「左右の二枚看板」に安定感があり、今節連勝。懸命に首位を走っている。

3位は8勝3敗1分のビックカメラ高崎。「交流戦」のSGホールディングス戦で延長タイブレークに入った8回表、1点を勝ち越しながら、その裏、「レジェンド」上野由岐子が逆転サヨナラのタイムリーを浴び、「まさか……」の敗戦。続く伊予銀行戦は4-13で逆転勝ちを取めたものの、序盤3点のリードを許す等、「らしくない」戦いが続き、波に乗り切れずにいる。

昨シーズンの「東地区」の覇者・日立は今節連敗で6勝5敗1分の4位。6勝6敗のデンソーが5位、5勝7敗のNECプラットフォームズが6位、

3勝8敗1分の太陽誘電が7位、開幕12連敗と出口の見えない暗闇の中で光明を探しあぐ大垣ミナモが最下位となっている。

「西地区」では、首位を快走するトヨタが今節も連勝。11勝1敗で2位以下を引き離し、7勝5敗のSHIONOGI、豊田自動織機が同率2位。「交流戦」で難敵・ビックカメラ高崎相手にエリカ・ピアンカステリの逆転サヨナラ二塁打で劇的な勝利を挙げたSGホールディングスが6勝5敗1分の4位につけている。



SGホールディングスがビックカメラ高崎に劇的勝利！

以下、伊予銀行、タカギ北九州、東海理化の3チームが4勝8敗で同率5位を並走。3勝9敗の日本精工が最下位となっている。

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第6節「東地区」大垣ラウンド 岐阜県大垣市・大垣市北公園野球場					
月 日	試合結果				
5月24日(土)	第1試合	日立 サンディーバ	0-5	デンソー ブライトペガサス	
	第2試合	大垣 ミナモ	1-12	戸田中央 メディックス埼玉	
	第3試合	ホンダ リヴェルタ	雨天順延	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	
5月25日(日)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	0-7	戸田中央 メディックス埼玉	
	第2試合	日立 サンディーバ	2-5	ホンダ リヴェルタ	
	第3試合	大垣 ミナモ	2-3	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	
5月26日(月)		ホンダ リヴェルタ	2-1	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第6節「西地区」豊田ラウンド 愛知県豊田市・豊田市運動公園野球場					
月 日	試合結果				
5月24日(土)	第1試合	日本精工 プレイブベアリーズ	2-6	SHIONOGI レインボーストックス	
	第2試合	トヨタ レッドテリアーズ	5-2	豊田自動織機 シャイニングベガ	
	第3試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	雨天順延	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	
5月25日(日)	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	8-3	日本精工 プレイブベアリーズ	
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	3-2	SHIONOGI レインボーストックス	
	第3試合	トヨタ レッドテリアーズ	5-3	東海理化 チェリーブロッサムズ	
5月26日(月)		東海理化 チェリーブロッサムズ	3-4	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第6節「交流戦」上越ラウンド 新潟県上越市・高田城址公園公園野球場					
月 日	試合結果				
5月24日(土)	第1試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	3-2	ビックカメラ高崎 ビークイーン	
	第2試合	太陽誘電 ソルフィユ	3-5	伊予銀行 ヴェールズ	
5月25日(日)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	4-3	伊予銀行 ヴェールズ	
	第2試合	太陽誘電 ソルフィユ	4-4	SGホールディングス ギャラクシースターズ	



第7節

「ニトリ JD・LEAGUE 2025」第7節は「東地区」が埼玉県朝霞市、「西地区」が京都府京都市、「交流戦」が静岡県磐田市の全国3会場で死闘・激闘を繰り広げた。

今節も週末の「雨」に悩まされ、前節（第6節）に続き、「東地区」の朝霞ラウンド、「交流戦」の磐田ラウンドが雨天順延を余儀なくされ、予備日を使つての日程消化となった。

「東地区」では、戸田中央が連勝！着実に勝ち星を積み重ね、ホンダとの「首位攻防戦」にも2―1で辛勝。通算成績13勝1敗と「ホーム」でしっかりと「首位固め」に成功した。

戸田中央との「首位攻防戦」に敗れたホンダは10勝4敗となり、3位に順位を落とし、今節連勝のビックカメラ高崎が10勝3敗1分で2位に浮上。

「交流戦」で「西地区」首位のトヨタを藤森捺未の劇的なサヨナラホームランで撃破した日立が8勝5敗1分で4位につけ、7勝7敗で勝率5割のデンソーが5位、以下、5勝9敗のNECプラットフォームズが6位、3勝10敗1分の太陽誘電が7位、開幕から勝ち星なしの14連敗と苦しむ大垣ミナモが最下位に沈んでいる。



「王者」トヨタを撃破した日立。ここから逆襲が始まる!?

「西地区」は、「3連覇」を狙うトヨタが昨シーズンの「東地区」の覇者・日立にサヨナラ負け。頼みの「エース」メーガン・ファライモが手痛い一発を被弾し、2敗目を喫したが、通算成績12勝2敗で首位の座は揺るがず。8勝6敗でSHIONOGI、豊田自動織機が2位に並んで追いかけてはいるが、その差はなかなか縮まりそうにない。4位には7勝6敗1分のSGホールディングス、5位は5勝9敗の伊予銀行、東海理化、日本精工の3チームが「同率」で並び、今節2試合とも二桁失点で大敗したタカギ北九州が4勝10敗で最下位に転落してしまった。

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第7節「東地区」朝霞ラウンド 埼玉県朝霞市・朝霞中央公園野球場					
月 日		試合結果			
5月31日(土)	第1試合	大垣 ミナモ	雨天順延	デンソー	ブライトペガサス
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	雨天順延	ホンダ リヴェルタ
	第3試合	太陽誘電	ソルフィーユ	雨天順延	ビックカメラ高崎 ビークイーン
6月1日(日)	第1試合	大垣 ミナモ	1-2	ホンダ リヴェルタ	
	第2試合	デンソー	ブライトペガサス	0-2	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第3試合	戸田中央	メディックス埼玉	7-1	太陽誘電 ソルフィーユ
6月2日(月)	第1試合	大垣 ミナモ	1-2	デンソー	ブライトペガサス
	第2試合	戸田中央	メディックス埼玉	2-1	ホンダ リヴェルタ
	第3試合	太陽誘電	ソルフィーユ	0-4	ビックカメラ高崎 ビークイーン

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第7節「西地区」京都ラウンド 京都府京都市・わかさスタジアム京都					
月 日		試合結果			
5月31日(土)	第1試合	日本精工	ブレイブアリーズ	10-4	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	5-3	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第3試合	SHIONOGI	レインボーストックス	6-8	伊予銀行 ヴェールズ
6月1日(日)	第1試合	タカギ北九州	ウォーターウェーブ	1-15	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第2試合	日本精工	ブレイブアリーズ	1-0	伊予銀行 ヴェールズ
	第3試合	SGホールディングス	ギャラクシースターズ	3-4	SHIONOGI レインボーストックス

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第7節「交流戦」磐田ラウンド 静岡県磐田市・磐田城山球場					
月 日		試合結果			
5月31日(土)	第1試合	日立	サンディーバ	雨天順延	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	雨天順延	東海理化 チェリーブロッサムズ
6月1日(日)	第1試合	日立	サンディーバ	10-1	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	2-5	トヨタ レッドテリアーズ
6月2日(月)	第1試合	日立	サンディーバ	3-2	トヨタ レッドテリアーズ
	第2試合	NECプラットフォームズ	レッドファルコンズ	3-4	東海理化 チェリーブロッサムズ

第8節

「ニトリJD.LEAGUE 2025」

第8節は、6月7日（土）・8日（日）の両日、「東地区」が神奈川県秦野市、「西地区」が愛知県小牧市、「交流戦」が滋賀県高島市の全国3会場で開催され、激しい順位争いが繰り広げられた。「東地区」では、第7節まで1敗を堅持し、首位を「独走」している戸田中央が今節も連勝。通算成績15勝1敗と星を伸ばした。



「東地区」快調に首位を走る戸田中央

2位は11勝4敗1分のビックカメラ高崎。初戦のNECプラットフォームズ戦で0-1の完封負け。一進一退の状況が続き、首位・戸田中央の背中は遠ざかるばかり……。

3位は11勝5敗のホンダ。こちらも今節1勝1敗で首位との差を詰めることができず……差を広げられる結果に。

以下、今節「ホーム」で連勝の昨シーズン（の覇者・日立が10勝5敗1分の4位で続き、同じく今節連勝のデンソーが9勝7敗で5位、6勝10敗のNECプラットフォームズが6位、第3節で3勝目を挙げてから1分を挟み、10連敗と元気のない太陽誘電が3勝12敗1分で7位、開幕から未だ勝ち星なく16連敗と出口の見えないトンネルの中であえぎ苦しむ大垣ミナモが最下位に沈んでいる。

「西地区」は単独首位に立っているトヨタが今節も連勝。通算成績14勝2敗とし、首位を独走。2位以下を大きく引き離している。

2位には9勝7敗の豊田自動織機がつけ、今節連敗のSHIONOGIが8勝8敗で3位。「エース」三輪さくらが首位・トヨタとの対戦で初回に満塁ホームランを浴びる等、7失点の大炎上。チームも0-15で大敗し、続く東海理化戦は1失点で踏ん張るも打線の援護なく、0-1の完封負け。4位には7勝8敗1分のSGホールディングス、今節連勝で7勝9敗まで星を戻した伊予銀行が5位で続き、6勝10敗の東海理化が6位、5勝11敗でタカギ北九州、日本精工が同率7位に並んでいる。

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第8節「東地区」秦野ラウンド 神奈川県秦野市・中栄信金スタジアム秦野

月 日	試合結果
6月7日(土)	第1試合 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ 1-0 ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合 大垣 ミナモ 0-11 日立 サンディーバ
	第3試合 デンソー ブライトペガサス 4-2 太陽誘電 ソルフィーユ
6月8日(日)	第1試合 大垣 ミナモ 0-4 ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合 デンソー ブライトペガサス 1-0 NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第3試合 太陽誘電 ソルフィーユ 2-6 日立 サンディーバ

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第8節「西地区」小牧ラウンド 愛知県小牧市・小牧市民球場

月 日	試合結果
6月7日(土)	第1試合 SGホールディングス ギャラクシースターズ 3-4 タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合 東海理化 チェリーブロッサムズ 0-4 伊予銀行 ヴェールズ
	第3試合 SHIONOGI レインボーストックス 0-15 トヨタ レッドテリアーズ
6月8日(日)	第1試合 伊予銀行 ヴェールズ 15-1 タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合 SGホールディングス ギャラクシースターズ 0-1 トヨタ レッドテリアーズ
	第3試合 東海理化 チェリーブロッサムズ 1-0 SHIONOGI レインボーストックス

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第8節「交流戦」高島ラウンド 滋賀県高島市・今津スタジアム

月 日	試合結果
6月7日(土)	第1試合 豊田自動織機 シャイニングベガ 1-4 戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合 日本精工 ブレイブベアーズ 9-12 ホンダ リヴェルタ
6月8日(日)	第1試合 豊田自動織機 シャイニングベガ 3-1 ホンダ リヴェルタ
	第2試合 日本精工 ブレイブベアーズ 1-3 戸田中央 メディックス埼玉



第9節

「ニトリ JD.LEAGUE 2025」

第9節は、「東地区」が栃木県那須塩原市、「西地区」が愛知県刈谷市、「交流戦」が兵庫県豊岡市で開催された。

大会初日（6月14日／土）が全国的な悪天候に見舞われ、「ドーム」（全但バス但馬ドーム）で開催された「交流戦」豊岡ラウンドを除き、「東地区」那須塩原ラウンドが第1試合、「西地区」刈谷ラウンドが第2試合まで実施したところで雨天順延を余儀なくされ、予備日（6月16日／月）を使って前半戦の全日程を終了した。

「東地区」は、首位を走る戸田中央が予備日に順延された前半戦の最終戦・日立戦に延長タイブレークの末、2-3の逆転サヨナラ負け。2敗目を喫したが通算成績16勝2敗で首位の座は安泰。ビックカメラ高崎が13勝4敗1分で2位につけ、12勝6敗のホンダが3位。首位・戸田中央との「直接対決」を山内早織の劇的なサヨナラ安打で制した日立が11勝6敗1分の4位、10勝8敗のデンソーが5位、6勝12敗の NECプラットフォームズが6位で続き、太陽誘電が前半戦の最終戦で NECプラットフォームズに2-0で勝利を取り、連敗脱出。久々の4勝目を挙げ、

通算成績4勝13敗1分の7位、前半戦最後まで勝ち星を挙げることのできなかった大垣 ミナモが勝ち星なしの18連敗で最下位となっている。



「東地区」大垣 ミナモは前半戦1勝もできず……

「西地区」は、トヨタが「エース」不在となった今節、伊予銀行に1-4で敗れ、3敗目。ただ「西地区」はそれを追うチームが2位でもすでに「7敗」を喫しているとあって、首位独走は変わらず。11勝7敗の豊田自動織機が2位、10勝8敗の SHIONOGI が3位、9勝8敗1分の SGホールディングスが4位で続き、首位・トヨタを本間紀帆の満塁本塁打「一発」で沈めた伊予銀行が8勝10敗で5位、タカギ北九州、東海理化が6勝12敗の同率6位で並び、5勝13敗の日本精工が最下位で前半戦を終了した。

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第9節「東地区」那須塩原ラウンド 栃木県那須塩原市・石川スポーツグラウンドくろいそ野球場

月 日	試合結果			
6月14日(土)	第1試合	ホンダ リヴェルタ	3-13	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	日立 サンディーバ	雨天順延	戸田中央 メディックス埼玉
	第3試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	雨天順延	太陽誘電 ソルフィュー
6月15日(日)	第1試合	ビックカメラ高崎 ビークイーン	6-1	日立 サンディーバ
	第2試合	戸田中央 メディックス埼玉	7-1	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第3試合	ホンダ リヴェルタ	3-1	太陽誘電 ソルフィュー
6月16日(月)	第1試合	日立 サンディーバ	3-2	戸田中央 メディックス埼玉
	第2試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	0-2	太陽誘電 ソルフィュー

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第9節「西地区」刈谷ラウンド 愛知県刈谷市・刈谷球場

月 日	試合結果			
6月14日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	3-0	日本精工 ブレイブベアリーズ
	第2試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	2-0	伊予銀行 ヴェールズ
	第3試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	雨天順延	東海理化 チェリーブロッサムズ
6月15日(日)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	1-4	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	7-0	日本精工 ブレイブベアリーズ
	第3試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	17-0	東海理化 チェリーブロッサムズ
6月16日(月)		SGホールディングス ギャラクシースターズ	2-1	東海理化 チェリーブロッサムズ

ニトリ JD.LEAGUE 2025 第9節「交流戦」豊岡ラウンド 兵庫県豊岡市・全但バス但馬ドーム

月 日	試合結果			
6月14日(土)	第1試合	デンソー ブライトペガサス	3-2	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	SHIONOGI レインボーストックス	8-2	大垣 ミナモ
6月15日(日)	第1試合	大垣 ミナモ	1-7	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	SHIONOGI レインボーストックス	5-3	デンソー ブライトペガサス

ニトリ JD.LEAGUE 2025			
東地区 第9節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	戸田中央 メディックス 埼玉	16勝2敗	0.889
2位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	13勝4敗1分	0.765
3位	ホンダ リヴェルタ	12勝6敗	0.667
4位	日立 サンディーバ	11勝6敗1分	0.647
5位	デンソー ブライトベガサス	10勝8敗	0.556
6位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	6勝12敗	0.333
7位	太陽誘電 ソルフィュー	4勝13敗1分	0.235
8位	大垣 ミナモ	0勝18敗	0.000
西地区 第9節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	トヨタ レッドテリアーズ	15勝3敗	0.833
2位	豊田自動織機 シャイニングベガ	11勝7敗	0.611
3位	SHIONOGI レインボーストックス	10勝8敗	0.556
4位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	9勝8敗1分	0.529
5位	伊予銀行 ヴェールズ	8勝10敗	0.444
6位	東海理化 チェリーブロッサムズ	6勝12敗	0.333
6位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	6勝12敗	0.333
8位	日本精工 ブレイブベアリーズ	5勝13敗	0.278

毎週末やってくる**雨** 突然襲来する**猛暑**



天候に悩まされながらも懸命の大会運営

4月11日（金）に「第54回日本男子ソフトボールリーグ」が開幕を迎え、翌12日（土）には4年目のシーズンを迎えた「JDRリーグ」も開幕。翌週末には「第58回日本女子ソフトボールリーグ」が開幕を迎え、本格的なソフトボールシーズンが幕を開け、その後も毎週のように全国各地で「JDRリーグ」「日本リーグ」が開催され、前半戦を終了。「サマーブレイク」に入った。

リーグ開催が一段落したのも束の間、7月からは「全日本大会」（全国大会）が開催され、選手・チームは各カテゴリーの「日本一」の座をめざし、年に一度の「総決算」「集大成」に臨むことになる。

今シーズンは毎週のように「週末」を迎えると「雨」……天気予報とにらめっこしながら各開催地では懸命の大会運営が続いた。ようやく「雨」が上がったかと思えば、今度は急激な暑さ、「猛暑」に見舞われ、試合途中で「給水タイム」「冷却措置」を行う「暑熱対策」にも気を配りながらの大会開催を余儀なくされることになった。

まずは大会に臨む選手・チームの皆さん、審判員・記録員の皆さん、大会運営に携わる皆さんの「健康第一」で「安全・安心」に細心の注意を払い、すべての人の心に残る大会が開催されることを祈るばかりである。

第54回日本男子ソフトボールリーグ第2節



ニトリ JD. LEAGUE 2025 第6節～第9節



令和7年度第1回理事会議事録



審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。理事25名中出席18名（欠席7名）、監事出席2名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認された。

●審議事項

第1号議案

令和6年度事業報告案について

瀬戸山総務委員長より「令和6年度事業報告案」について説明され、公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計ごとに実施された事業の報告を行った他、令和6年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員・記録員・指導者の各登録人数を報告。

これを受け、審議が行われ、「第1号議案」は原案通り承認された。

第2号議案

令和6年度決算報告案について

石井財務委員長より「令和6年度決算報告案」の内容について次のように説明された。

令和6年度の全体決算としては、經常収益が前年度比2億6千207万5934円減の5億4千689万6529円、經常費用が前年度比3億7千200万3246円減の5億953万7417円となり、当期經常増減額は3千735万9112円の黒字となった。収支予算対比においては、經常収益が1千664万3471円の減、經常費用が5千400万2583円の減であった。登録数の減少が続く中で、収

期日…令和7年5月23日（金）

15:00～16:50

場所…東京都新宿区/Japan Sport Olympic Square及びインターネット会議方式併用

理事現在数…25名

出席理事…18名

欠席理事…7名

出席監事…2名

欠席監事…1名

議長…牧島かれん

入ではJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）選手強化委託金、クラウドファンディング、JOC交付金の増加、支出では正規職員の期中での退職、会議のリモート化、事業の見直し、徹底した経費節減の努力により、令和3年度以来の黒字決算となった。

公益目的事業会計の主な差異については、経常収益においては、予算対比約2千400万円減の4億1千823万4734円、経常費用においては、約3千217万円減の4億2千728万8961円、当期経常増減額は905万4227円のマイナスとなった。

収益事業等会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約1千440万円減の3千118万4282円、経常費用においては、約118万円増の1千638万8786円、当期経常増減額は1千479万5496円のプラスとなった。

法人会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約2千177万円増の9千747万7513円、経常費用においては、約2千301万円減の6千585万9670円、当期経常増減額は3千161万7843円のプラスとなった。

続いて赤城監事より「業務監査報告」が行われ、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示しており、理事の業

務執行の状況は適正であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないことが説明された。

併せて、独立監査人である伊藤章子公認会計士から説明・報告を受けた内容についても触れ、本会計は公益法人会計の基準に準拠して、適正に会計処理がなされており、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益の状態を、すべての重要な点において適正に表示していることを認め、財産目録に関しても、公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものであると認める旨の説明があった。

なお、補足として、三菱UFJ信託銀行の「デリバティブ内包型預金ツインスター」について多額の含み損が発生している状況で、今後金利が上昇するとさらにデリバティブ損失が膨らむ可能性があり、中途解約時はデリバティブ損失に追加して解約違約金が発生するとの説明がなされた。

この監査報告を受けて、岡本専務理事兼事務局長より「補足説明」が行われ、昨年4月スタート時はプロパー8名と臨時職員等合わせて13名であったが事務局員の編成が3月末時点でプロパー6名、他臨時職員を含め計9名の編成となり、1千数百万の削減につながったことが説明された。一方で人件

費率が13%と非常に低い水準であることから給与等待遇面を含めて今後検討していく必要があることも併せて説明された。

以上の議案説明を受け、審議が行われ、審議の結果、「第2号議案」は原案通り承認された。

第3号議案 総務委員会提案・報告事項

瀬戸山総務委員長より総務委員会から次の5点について提案された。

(1) 合同チームの取り扱いについて ※確認

合同チームで大会参加する場合のチーム名称は「Aチーム・Bチーム」または「愛称」である。ただし、都道府県対抗全日本中学生大会については、「都道府県名」を必ずチーム名称に入れること。

(2) 参加申込とチームメンバーの追加と変更について

大会参加申込に際してのチームメンバーの追加と変更について、「本大会参加申し込み」期限までは、他に登録

がない新規選手の追加登録は可能とすることを確認。

(3) ユニフォームへの名前表示について

ユニフォーム背面への名前表示について、姓、名のいずれかであれば、チーム内で統一する必要はない。ただし、表示するか、しないかについては統一する必要がある、またニックネームの表示は不可であることを確認。

(4) 開会式の実施について

全日本大会における開会式の開催について、全日本小学生（夏・春）、全日本中学生、都道府県対抗全日本中学生、全国高等学校選抜、全日本大学選手権の各大会は必須とするが、その他の種別の大会は日本協会としては必須とせず、各開催地主管協会に実施の判断を委ね、その他の種別で開会式を開催する場合にも参加必須要件については柔軟な対応を求めるものとする。

なお、熱中症対策として冷房の効いた屋内施設を賃借するための費用を補助するため、7月～9月の小・中高・大の各大会に限り、領収書を添付することにより、5万円（税込）を上限としたその実費を委託金として追加

で支給することとする。

（5）暑熱対策について

別途「ソフトボールにおける熱中症予防対策ガイドライン」（※**ガイドラインの詳細はこちら**）を作成し、周知徹底を図る。なお他団体が主体の各大会（高校総体、全国中学校大会、日本スポーツマスターズ、国民スポーツ大会、ねんりんピック等）においては、独自のガイドラインを制定する場合があるので、各大会のガイドラインに従い大会に参加することとし、ガイドラインに記載がない事項については、自治体や学校、その他団体が定めるガイドラインを遵守し、熱中症による事故が起らないよう細心の注意を払い、ソフトボール活動を行うこと。

なお全日本小学生大会（男子、女子）に限り、ミストシャワーのレンタル費用、または簡易的な身体冷却用の氷水を用意するための氷、および氷水を入れるためのタライ、アイスクーラー（どぶ漬け）、ポリ容器、ミニプール等の準備費用について、領収書を添付することにより、10万円（税込）を上限としたその実費を委託金として追加で支給するものとする。

以上が説明され、次の3点について

は「**継続審議**」とすることが併せて説明された。

※1 チーム登録規程改正の方向性

生涯種別における重複登録の要件緩和、登録時点におけるユニフォームナンバーの固定緩和、コーチ人数の緩和等について議論。要件を緩和することにより個人登録の重複については登録毎に登録料を徴収することや競技種別学生種別における登録との整備等を行った上で、今年中に条件を整え、「シクミネット」改修を来年中に行い、令和9年度以降に適用できるよう作業を進める。

※2 大会委託金の整理、大会運営の全体的な見直し

大会規模による委託金の整理、運営費用高騰に対応する全体的な見直し。参加チーム数の見直しやブロック予選導入等、持続可能な大会運営の全体的な見直しを検討。

※3 実業団女子及びクラブ女子大会の見直し。並びに全日本総合選手権大会の改革

実業団女子大会に10チーム程度の参

加しない状況で、クラブ女子との統合、もしくは開催地の統一など、合理化を検討し、全日本総合選手権大会については、昨年度より賜杯の冠が付いたことから、グレードの高い大会とすべく、改革を検討。特に女子についてはJDRリーグチームの参加もあることから「有料化」「決勝戦をプロ野球を行うようなスタジアムで実施」等、協賛等を集め、テレビ放映等が行われる方向での議論検討。

以上の議案説明を受け、審議が行われた。

開会式の参加については「競技者必携」で9名以上（試合が成立する人数）の参加を原則としているが、室内での実施となると会場によってはその人数を収容しきれない状況も考えられ「柔軟な対応」としていることが改めて説明・確認され、「熱中症対策」については通常の運営費とは別に5万円を上限として領収書を添付し、申請すれば大会終了後、支給されることも併せて確認され、審議の結果、「第3号議案」は原案通り**承認**された。
本日承認された提案内容は、即日各都道府県協会に当該文書を送付するとともに、本協会ホームページでもこの決定事項を公開。周知徹底を図ること

が確認・了承された（※**日本協会オフィシャルホームページ掲載内容の詳細はこちら**）。

第4号議案

支部功労者表彰

日本ソフトボール協会賞について

瀬戸山常務理事より「令和6年度支部功労者」について、各都道府県協会より推薦のあった52名を表彰すること、併せて「日本ソフトボール協会賞」をMORIALL WAVE KANON Y A（鹿児島／第45回全日本クラブ女子選手権大会優勝及び第57回日本女子リーグ優勝）に、それぞれ贈呈することが提案され、「第4号議案」は原案通り**承認**された。

第5号議案

選手強化本部提案事項

岡本専務理事兼事務局長より「女子U18日本代表チーム」選手選考結果に基づく代表選手名簿が提出され、承認が諮られた。

併せて「第15回女子U18ワールドカップファイナル」（派遣期間9月23日（火・祝）～10月4日（土）／アメリカ・オクラホマシティで開催）に選手16名、スタッフ6名を派遣し、「第

1次国内強化合宿」は8月12日(火)～14日(木)の期間で、東京女子体育大学で実施することが提案され、「第5号議案」は原案通り承認された。

※選考会詳細・選考結果はこちら

第6号議案
LA28特別委員会提案事項

岡本専務理事兼事務局長から「LA28」(2028年ロサンゼルスオリンピック)に向けた選手強化活動の一環である「第14回女子アジアカップ」の日本代表選手については「若手主体」で16名を、「第12回ワールドゲームズ」女子日本代表選手についてはベテランを含む「ベストメンバー」の15名を、それぞれ選出したことを説明。その選手名簿が提出され、承認が諮られた。併せて「第14回アジアカップ」の大会日程変更と国内強化合宿事業日程変更についても提案され、「第6号議案」は原案通り、承認された。

※第14回女子アジアカップ

出場選手・スタッフはこちら

※第12回ワールドゲームズ

出場選手・スタッフはこちら

これらの提案に付随して、「強化戦略プランにおける共通理念及び行動指針」が紹介され、理事会における共通認識・共通理解が図られた。

第7号議案
各国際大会「チームリーダー」の派遣について

岡本専務理事兼事務局長から「第18回男子ワールドカップファイナル」及び「第12回ワールドゲームズ男子」のチームリーダーに自身を、「第14回女子アジアカップ」「第12回ワールドゲームズ女子」「第15回女子U18ワールドカップファイナル」のチームリーダーに宇津木麗華副会長、「第2回女子U15ワールドカップ」のチームリーダーに宇津木妙子副会長を推薦することが提案され、「第7号議案」は原案通り承認された。

※第18回男子ワールドカップファイナル
出場選手・スタッフはこちら

※第2回女子U15ワールドカップ

出場選手・スタッフはこちら

この提案に付随し、「第12回ワールドゲームズ女子」「第15回女子U18ワールドカップファイナル」に「LA28特別委員会」から矢端ハイパフォーマ

ンスディレクターが大会視察を行うことが報告された。

第8号議案

技術委員会提案事項
(新意匠ボール関係)について

亀田技術委員長より「令和6年度第2回定時評議員会」の後に発表された「新意匠ゴムソフトボール」の取り扱いと、バットの表示について説明された。令和8年3月開催の大会については令和7年度の大会のため現行の2号、3号球を使用するが、新意匠球への変更に伴い、令和8年4月1日以降の全日本大会の予選大会に位置付けられている公式大会においては公式球として「新意匠ゴムソフトボール」を使用するよう理解が求められ、その内容で実施していくことが提案された。

「新意匠ゴムソフトボール」の販売開始は本年秋を予定しており、最初は予約販売となる見込み。具体的な日時については6月8日の「第1回定時評議員会」までには各メーカーより通知される見通しであることが説明された。併せて、令和8年度以降の検定バットの表記及び3号革ボールの商品表記についても説明され、「新意匠ゴムソフトボール」が導入され、バットの表記も令和8年度以降に製造、販売され

る商品から順次新しい表記となることが説明された。ただし、現在使用、販売されている2号、3号と表記されているバットについても、引き続き使用可能であるとの補足説明がなされた。

以上の説明を受け、審議が行われ、「新意匠ゴムソフトボール」は本年秋から販売が開始されるが、公式戦で利用できるのは、あくまでも「令和8年4月1日以降」であることが確認され、「第8号議案」は原案通り承認された。

※「新意匠ゴムソフトボール」
関連情報はこちら

また、今後のさらなる普及活動を見据えた場合、用具の価格高騰がその足枷になりかねない部分もあり、販売価格を抑えていくような努力・交渉も必要ではないかとの意見が出された。

第9号議案
倫理・コンプライアンス委員会
提案事項

岡本専務理事兼事務局長より、埼玉案件並びに福井案件について、経緯の詳細な説明と処分内容が提案され、承認された。

なお詳細については処分者の個人名が含まれるため、議事録では表示しな

いことが確認・了承された。

第10号議案

WBS C総会派遣者について

岡本専務理事兼事務局長より、10月15日（水）～19日（日）、タイ・バンコクで開催されるWBS C（世界野球ソフトボール連盟）総会について、WBS C役員改選の選挙が行われることに加え、SA（ソフトボール・アジア）の臨時総会が実施されることから、宇津木妙子副会長、岡本専務理事兼事務局長、三宅名誉会長、矢端ハイパフォーマンズディレクターの4名と事務局員を派遣することが提案され、「第10号議案」は原案通り承認された。

第11号議案

アンダーカテゴリー対策部会提案事項

岡本専務理事兼事務局長より「アンダーカテゴリー対策部会」での打ち合わせ事項が提示され、課題として令和9年度に全国中学校大会（全中）の男子競技が実施競技から外れることに伴う「代替大会」の提案と今後の方向性について、現状、令和7年度に中体連に登録している男子チームは33チーム

に減少（令和6年度の77から58%減）、今年の新中学1年生は3年生時に「目標とする大会」がなくなってしまう。

併せて令和9年度より同大会の女子についても現在の28チームから20チームに出場枠が減らされ、令和12年度に再度見直しが行われること、対策として男子については、現在日本協会で開催している全日本中学生大会と並行し、中体連登録の33（実際はさらに減る可能性あり）チームの「目標となる大会」の創設を検討。ただし、現行の「全日本中学生大会」との差別化が必要であり、叩き台となる「素案」を示し、今後議論を進めていくことが提案された（「素案」は令和12年度の全国中学校女子大会の方向性を示すことも念頭に置き、作成する）。

以上が説明され、審議が行われ、審議の結果、「第11号議案」は原案通り承認された。

第12号議案

暑熱対策ガイドラインについて

岡本専務理事兼事務局長より、医事委員会、総務委員会で議論された「ソフトボールにおける熱中症予防対策ガイドライン」（案）が提案された。

本ガイドラインは、暑熱環境における大会（試合）実施についての基準、開催時の熱中症予防対策、熱中症発生時の現場での対応等を定め、対象大会は、全国大会および国民スポーツ大会ブロック大会とし、当該大会では、主催者は本ガイドラインを遵守する義務を負うこと、その他の大会においても本ガイドラインを準用することに努めることとする。

ガイドラインに沿って熱中症特別警戒アラート、熱中症警戒アラートが気象庁から発出された場合、参加チームに対して当日の試合が中止・延期・時間変更の可能性があることを伝え、当日の試合開始前のWBS C（湿球黒球温度／熱中症予防のための暑さ指数）が31℃以上の場合、試合は原則中止・中断・延期とするが、熱中症予防対策を十分に講じている場合には、主催者の判断により実施することができること、特に小学生の大会においては大会運営者側においてもミストシャワーや身体冷却用の氷水等の準備等、必ず対策を講じることとする。予防対策として審判の対応4項目、事前準備6項目、会場準備6項目の説明がなされた。試合途中でWBS Cが35℃以上になった場合は、各会場責任者が主催者（大会委員長）に報告・相談し、最終決定することが説明された。

※熱中症ガイドラインはこちら

以上の説明を受け、審議が行われ、「第12号議案」は原案通り承認された。

第13号議案

20秒タイマーの購入について

石井財務委員長より、2023年6月に高知県協会に依頼し、20秒タイマーを購入。国際大会や日本リーグ等への賃借料で当初は2年程度で完済できていないため、当法人で令和6年度予算において一括購入することが提案された。

今後は、当法人の備品として登録し、各大会で活用し、中古機器であることから3年間の減価償却で経理処理することが併せて説明された。

以上の説明があり、審議の結果、「第13号議案」は原案通り承認された。

第14号議案

ベースボール5委員の変更

岡本専務理事兼事務局長より、BFJ（一般財団法人全日本野球協会）等とともに編成している「Baseball 115」準備室の委員について、山田

委員長から推薦のあった宮之原健氏（国際本部 Baseball 5 委員会委員、元 Baseball 5 日本代表）への変更が提案され「第14号議案」は原案通り承認された。

第15号議案

令和7年度第1回定時評議員会の開催について

岡本専務理事兼事務局長より、令和7年6月8日（日）、13時～15時、品川プリンスホテル・メインタワー会議室及びオンライン併用方式にて「令和7年度第1回定時評議員会」を開催することが提案された。

議案は次の通り。

- (1) 議長選出
- (2) 議事録署名人の選出
- (3) 令和6年度事業報告（案）
- (4) 令和6年度決算報告（案）

以上とし、その他報告として、各種表彰（日本ソフトボール協会賞、支部功労者表彰、終身審判員、終身記録員）等を行う。

以上が説明され、「第15号議案」は原案通り承認された。

● 報告事項

1. 専門委員会からの報告事項

① 普及委員会

磯谷常務理事より「令和6年度第2回普及委員会議事録」を基に詳細が報告された。

小中学生種別で突出した実績のあった福島県、千葉県、愛知県、広島県、福岡県、鹿児島県の活動並びに47都道府県協会における普及委員会設置状況 A S O B A L L ・ 学校体育事業実施状況等についての報告があった。

② 審判ルール委員会

神谷常務理事より「令和7年度第1回審判ルール委員会議事録」を基に詳細が報告され、審判員のレベルアップを目的に「オフィシャルルールケースブック改訂第7版」の発行を来年2月に予定しており、動画を採用する等、より分かりやすい内容にしていきたいとの報告があった。

③ 記録委員会

担当の西常務理事が欠席のため、事務局より「令和7年度第1回記録委員会議事録」を基に報告され、今年度事業の確認、並びに次年度に向けた活動

方針等について協議されたことが報告された。

④ T C 部会

事務局より、3月に開催された T C 部会議事録を基に報告され、 T C （テクニカルコミッショナー）を国内でどのように定着させ、進めて行くかについて協議され、 J D リーグ前半戦に委員を派遣し、業務内容に共通事項の多いラウンドディレクターと協議することと今後の方向性を打ち出していきたいとの報告がなされた。

2. 全日本大学連盟への文書

岡本専務理事兼事務局長より、全日本大学連盟から出された「男子 U 23アジアカップ」派遣に関する要望4項目に対する回答について報告された。

ワールドカップ出場権獲得時は次年度事業計画及び予算に提案すること、選手選考については他の23歳以下選手と同列で取り扱えること等の回答を行ったとの報告がなされた。

3. J D リーグ報告事項

岡本専務理事兼事務局長より、 J D リーグにおけるチーム着用ユニフォームへの氏名記載について説明され、チ

ームが作成する3rdユニフォームへの名（ファーストネーム）を記載したものをリーグ公式戦で使用する事が報告され、併せて全日本総合選手権では同ユニフォームは着用しないことが確認されていることが報告された。

4. 事務局体制及び新職員について

岡本専務理事兼事務局長より、令和7年度 J S A 事務局業務分担について説明され、新職員3名の自己紹介が行われた。

・ その他

岡本専務理事兼事務局長より、前回理事会等で議論された「2026/2027 W B S C 女子ワールドカップ」の招致を断念したことが報告された。

牧島会長より、次期事務局長をどのようにに選任するか、事務局長の役割をどのように考えるかについて、昨年来より議論しており、岡本専務理事兼事務局長には高知と東京の往復、専務理事と事務局長を兼務することで大きな負担をかけてしまっているが、現時点で体制変更する要因が見当たらないため、今の体制を継続していくことが報告された。

令和7年度第2回理事会会議事録

審議に先立ち、本理事会は会場集合方式とインターネット会議方式（Zoomミーティング）の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認。理事25名中出席20名（欠席5名）、監事出席2名で定款第36条に基づき本理事会は成立することが確認された。



●審議事項

第1号議案 選手強化本部提案事項

岡本専務理事兼事務局長より、男子TOP日本代表チーム選手について7月のワールドカップファイナルは16名、8月のワールドゲームズは15名のエントリーとなることが説明され、ワールドゲームズに出場する15名はワールドカップファイナルのメンバーの中から1名を減らす形とし、その選定・発表についてはワールドカップ終了後、人選はヘッドコーチとチームリーダーに一任することが提案され、「第1号議案」は原案通り承認された。

第2号議案 WBSC役員候補者の推薦について

岡本専務理事兼事務局長より、WBSC（世界野球ソフトボール連盟）理事の立候補について、スケジュール説明に続き、本理事会においてJSA

（公益財団法人日本ソフトボール協会）から宇津木妙子副会長の統投、立候補者として擁立することが提案された（任期は4年、2029年WBSC総会まで。宇津木副会長は現在3期目、WBSC規約上、今回の立候補が最終4期目の任期となる）。

この提案を受け、審議が行われ、宇津木妙子副会長の推薦に異議はないが、前回の改選時にも後任を育てていく必要性について議論され、今回は最終任期となることを考えると、それに続く人材の登用・育成に関して現状、どのような状況にあるのかが確認された。

宇津木妙子副会長自身も今回の立候補に関して相当悩んだ末の決断だったこともあり、後任の人選に具体的な提案があるのであれば、自身の立候補にこだわらず、後進に道を譲りたい意向であることが表明された。

審議の結果、現時点ですぐに宇津木妙子副会長の代わりを務まるだけの人材の具体案はなく、宇津木妙子副会長の統投、立候補を基本路線とし、もう少し時間をかけ、検討することとなり、「第2号議案」は決議保留、継続審議となった。

期日…令和7年6月8日（日）
10:00～10:40
場所…東京・品川プリンスホテル
及びインターネット会議方式併用
理事現在数…25名
出席理事…20名
欠席理事…5名
出席監事…2名
欠席監事…1名
議長…牧島かれん

第3号議案

アンダーカテゴリー（U15） 対策部会委員選定について

岡本専務理事兼事務局長より、令和9年度の全国中学校大会実施競技から男子ソフトボールが外れることを受け、「代替大会」実施等を含む対策立案のための部会設置、それに伴う委員の選定について、中体連から競技部長、各ブロックの委員長代表3名を選出し、自身（岡本専務理事兼事務局長）、瀬戸山総務委員長、磯谷普及本部長を加えた7名のコンパクトな形で部会を編成し、迅速に議論を進めていくことが提案された。

この提案を受け、審議が行われ、審

議の結果、「第3号議案」は原案通り承認された。

第4号議案

実業団女子選手権大会

検討会議委員選定について

岡本専務理事兼事務局長より、令和7年度の実業団女子選手権大会のエントリー数は10チームに留まり、各地区でも予選なしの出場となっていることから、全国大会としての在り方が問われる状況となってきたことが説明された。

総務委員会でも長年議論されているカテゴリであり、これまでも意見としてカテゴリの統合、大会の合理化（1つの大会開催地で2つのカテゴリの大会を実施）などが挙がっている。早急に決定をしなければならぬ時期に差し加かっており、自身（岡本専務理事兼事務局長）と瀬戸山総務委員長、西リーグ委員長を委員とし、当該カテゴリチーム代表者を交えた「検討会議」を設置。議論を加速させていくことが提案された。

併せて当該カテゴリチーム代表者は、今年の全日本大会に出場するチームから実業団女子カテゴリ11～2チ

ーム、クラブ女子カテゴリ11～2チームとすることが説明され、審議が行われ、審議の結果、「第4号議案」は原案通り承認された。

第5号議案

2026愛知名古屋アジア競技大会

委員選定について

岡本専務理事兼事務局長より、大会の競技役員に従事する国内技術役員（NTO／ナショナルテクニカルオフィシャル）について、大会組織委員会より推薦依頼が届く予定（現時点で正式通知は未着）。推薦締切日が7月31日までとなっており、各職務の担当委員長に人選（国際資格を有する者）を依頼し、7月22日常務理事会で審議し、TC2名、Jury（裁定員）1名、副審判長1名（JSA審判長がこの役職に就く）、審判員4名、記録員3名を決定することが提案された。

この提案を受け、審議が行われ、審議の結果、「第5号議案」は原案通り承認された。

第6号議案

旅費（宿泊代）の取り扱い

について

岡本専務理事兼事務局長より、昨今

のホテル宿泊代の高騰により、現状の旅費規程である1万円では賄えないという意見が多く聞かれることから、現在の事業計画に基づく予算で宿泊代の追加を試算した結果、一律2000円上げた場合、500万円の追加予算が必要となり、財源がない以上、一律での改定は実施できず、現行の規程を継続することが説明された。

ただし、日本協会が派遣を依頼するリーグや全日本大会において、事前に「本部宿舎」が確定しており、その宿泊代が1万円を超える場合は主管協会より事前に申告の上、事前決裁を得られた場合に限り、事業終了後に領収書原本を事務局に送付することで実費弁済を行うことが提案された。

この提案を受け、審議が行われ、「第6号議案」は原案通り承認。今後、過度の個人負担が増えないよう、財源等を検討し、宿泊費の規程の改正を行っていく方向であることが確認・了承された。

●報告事項

1. 第2回男子U23アジアカップ

大会結果報告

岡本専務理事兼事務局長より6月2

日～5日、タイ・バンコクで開催された「第2回男子U23アジアカップ」の大会結果が報告された。

一般社団法人全日本大学ソフトボール連盟の全面的な協力もあり、「大学男子日本代表」として大会に参加。予選ラウンドは他を圧倒しての1位通過（ワールドカップ出場権獲得）。決勝戦では初回に今大会初失点（被本塁打で2点を先制される）したものの、すぐに逆転。5回コールドで勝利し、見事2大会連続で優勝したことが報告された。

この報告を受け、来年開催される「男子U23ワールドカップ」本大会への派遣措置について質問・意見が出されたが、現時点では令和7年度は赤字予算となっており、予算計上・大会派遣を実施する方向で検討していくものの、慎重な審議・対応が必要となることが確認・了承された。

最後に岡本専務理事兼事務局長より、伊東副会長が2024秋の藍綬褒章受章を祝し、（公財）日本スケート連盟主催で、6月12日に祝賀会が開催され、自身（岡本専務理事兼事務局長）が代表して出席することを報告。理事会出席者から改めて祝福の言葉・拍手が寄せられた。

令和7年度第1回定時評議員会議事録



評議員会に先立ち、「令和6年度支部功労者表彰」、同「終身審判員表彰」、同「終身記録員表彰」、同「日本ソフトボール協会賞」の表彰が行われ、伊東副会長より「令和6年度支部功労者」52名を代表し、長崎県・米倉評議員に、「終身審判員」58名を代表し、大阪府・杉本理事長に、「終身記録員」17名を代表し、神奈川県・松山評議員に表彰状とバッジが授与された。

続いて「日本ソフトボール協会賞」を受賞したMORIALL WAVE KANOYA（第45回全日本クラブ女子選手権大会優勝及び第57回日本女子リーグ優勝）の所属支部理事長である鹿児島県・瀬戸山理事長に表彰状と記念盾が贈呈された。

この表彰の後、定時評議員会成立要件が確認され、評議員総数54名のうち出席44名で定款第6章第23条に基づき、本評議員会は成立。

併せて、本評議員会は会議集合方式とオンライン形式の併用とし、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認され、第1回定時評議員会が開始された。

期日…令和7年6月8日（日）

13:00～14:20

場所…東京・品川プリンスホテル
及びインターネット会議方式併用

評議員現在数…54名

出席評議員…44名

欠席評議員…10名

理事現在数…25名

出席理事…19名

欠席理事…6名

出席監事…2名

欠席監事…1名

●審議事項

第1号議案

議長の選出について

牧島会長より、定款第22条3項に基づき、出席評議員の中から議長を選出する旨の説明があり、栃木県・阿久津評議員から静岡県・大沼評議員を推薦する提案があり、賛成多数で承認。大沼評議員が今回の評議員会における議長を務めることとなった。

第2号議案

議事録署名人の選出について

議長より、議事録署名人の選出につ



いて諮られ、山形県・佐藤評議員、大分県・森評議員を任命する提案があり、賛成多数で承認された。

第3号議案

令和6年度事業報告（案）について

瀬戸山総務委員長より「令和6年度事業報告案」について説明され、公益目的事業、収益目的事業、法人会計の会計ごとに実施された事業の報告を行った他、令和6年度に実施した各会議及び事業の報告、大会の成績、表彰、チーム登録数、審判員・記録員・指導者の各登録人数を報告。この説明を受け、審議が行われた。

審議の結果、「第3号議案」は賛成多数で原案通り承認された。

第4号議案

令和6年度決算報告（案）について

石井財務委員長より「令和6年度決算報告案」の内容について次のように説明された。

令和6年度の全体決算としては、経常収益が前年度比2億6千207万5934円減の5億4千689万6529円、経常費用が前年度比3億7千2

00万3246円減の5億953万7417円となり、当期経常増減額は3千735万9112円の黒字となった。

収支算対比においては、経常収益が1千664万3471円の減、経常費用が5千400万2583円の減であつた。登録数の減少が続く中で、収入ではJOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）選手強化委託金、クラウドファンディング、JOC交付金の増加、支出では正規職員の期中での退職、会議のリモート化、事業の見直し、徹底した経費節減の努力により、令和3年度以来の黒字決算となった。

公益目的事業会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約2千400万円減の4億1千823万4734円、経常費用においては、約3千217万円減の4億2千728万8961円、当期経常増減額は905万4227円のマイナスとなった。

収益事業等会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約1千440万円減の3千118万4282円、経常費用においては、約118万円増の1千638万8786円、当期経常増減額は1千479万5496円のプラスとなった。

法人会計の主な差異について、経常収益においては、予算対比約2千177万円増の9千747万7513円、

経常費用においては、約2千301万円減の6千585万9670円、当期経常増減額は3千161万7843円のプラスとなった。

続いて赤城監事より「業務監査報告」が行われ、事業報告書の内容は、法人の状況を正しく示しており、理事の業務執行の状況は適正であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないことが説明された。

併せて、独立監査人である伊藤章子公認会計士から説明・報告を受けた内容についても触れ、本会計は公益法人会計の基準に準拠して、適正に会計処理がなされており、当該財務諸表に係る期間の財産及び損益の状態を、すべての重要な点において適正に表示していることを認め、財産目録に関しても、公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものであると認める旨の説明があった。

なお、補足として、三菱UFJ信託銀行の「デリバティブ内包型預金ツインスター」について多額を含み損が発生している状況で、今後金利が上昇するとさらにデリバティブ損失が膨らむ可能性があり、中途解約時はデリバティブ損失に追加して解約違約金が発生するとの説明がなされた。

この監査報告を受けて、岡本専務理

事兼事務局長より「補足説明」が行われ、昨年4月スタート時はプロパー8名と臨時職員等合わせて13名であったが、事務局員の編成が3月末時点でプロパー16名、他臨時職員を含め計9名の編成となり、1千数百万の経費削減につながったこと等が説明され、一方で人件費率が13%と非常に低い水準であることから給与等待遇面を含めて今後検討していく必要があることも説明された。

以上の議案説明を受け、審議が行われ、審議の結果、「第4号議案」は賛成多数で原案通り承認された。

・その他

議題の審議が終了し、一般質疑応答が行われた。

千葉県・井之上上評議員より、今年度の収支予算と今回の収支決算を比較した際、決算において約3千700万円を圧縮できたことを考えると、元々の予算の組み方が甘く、今回の決算のようにならなければ、今期も同じように4千800万円の赤字の解消も可能なのではないかとの意見が出された。

また、「熱中症対策」等でこれまでにない予算がつけられているが、出来

るだけ早い段階で補正予算の状況を示してもらいたいとの要望が出された。続いて、同じく千葉県・井之上上評議員より、現在岡本専務理事が兼任している事務局長職について、前回評議員会開催時に、令和7年6月を目途に新事務局長を選定し、本定時評議員会開催までに決定するとの発言があったと記憶しているが、そのことについて報告がなかったため、この席上で改めて確認された。



専務理事と事務局長を兼任している状態に異議を唱える千葉県・井之上上評議員

この質問について、伊東副会長より5月23日の理事会で審議・承認された事項であり、現段階で適任者がいないため、引き続き専務理事に事務局長を兼任してもらいながら、久下課長を事務局次長に据え、その業務を分担しながら進めていく体制となっていることが説明された。

この説明に対し、井之上上評議員より、各支部とも会長、理事長、事務局長の三役は取り扱う業務が異なっており、現在の日本協会における業務執行・組織運営側のトップたる専務理事業務と、事務方のトップである事務局長業務は明確に分けるべきものであり、緊急的・暫定的な措置として専務理事・事務局長の兼務を容認したが、約束の時期を過ぎても現行体制を継続していくのはおかしいのではないかと。理事会で決定したこの現行体制はいつまで続くのか。以上の意見・質問が出された。

この質問に対し、岡本専務理事兼事務局長より、昨年10月より実施されてきた事務局長選定委員会の議論に触れ、井之上上評議員より指摘のあった事柄を含め、同選定委員会で協議され、第一の目的として「事務局員が働きやすい環境にすること」、第二に「外部から人材を招聘すると1千万円以上の経費・人件費がかかる」と推測されること、第三に「4月に「次長」に昇格さ

せた久下事務局長をわずか2カ月でさらに『局長』昇格させるのは現実的に難しい」との意見・判断から、今回の人事となったと受け止めているとの説明がなされた。

続いて、伊東副会長より、井之上評議員のご指摘はもつともであるが、10月来、様々な問題が噴出し、事務局を立て直すことを最優先、第一義としてきたため、その立て直しにはもう少し時間がかかるとの判断から岡本専務理事の負担、組織体制的な矛盾を承知の上で現行体制を暫時継続していく理事会決定をしたことが説明された。

牧島会長も外部の候補者を探してくださっており、何もしていないわけではなく、事務局の安定化のために岡本専務理事兼事務局長と久下事務局次長を中心に、努力していくことが重ねて説明され、現時点で「いつまでに」という期日を明言できないが、ここに至るまでの経緯説明・事情説明が行われ、現体制への理解が求められた。

これを受け、同じく井之上評議員より、やはり説明を受けても専務理事と事務局長を兼務させることについては理解ができないし、矛盾が生じることは否めず、「もう少し待ってほしい」という回答も前回と同じ回答であり、しっかりと期日を定めて実行に移すこと、事務局長の選任を行う選考委員に

ついて再度明確にしてほしいとの意見が出され、岡本専務理事より選考委員のメンバーは、牧島会長、三宅前会長、宇津木妙子副会長、伊東副会長、清水理事であることが改めて説明され、井之上評議員より選考委員に対応を急ぐよう強く求められた。

福井県・吉田評議員より令和7年度予算にシクミネットの大会参加申込に関する説明会を実施する旨が記載されていたが、予定されているのか、予定されている場合、期日はいつなのか、との質問が出された。

この件に関し、事務局より予定はしているが、具体的な期日については確定しておらず、当初予算編成時での想定は12月から1月辺りでの説明会実施を想定していた。ただ現在総務委員会等でチーム登録規程の抜本的な改革に関する議論が進められている状況であり、その進捗状況によって説明会の日程・内容が変わってくる可能性もあり、それらの状況を踏まえながら説明会の日程設定を協議・検討していることが説明され、決定次第、通知・案内することが確認・了承された。

鳥取県・徳田評議員より、専務理事をはじめ理事会には、今後も財政の健全化に努めてもらいたい旨、要望が出

され、事務局長職については、その職務を早く若い事務局員に引き継ぎ、専務理事には組織における事業執行の判断・決定、組織の統括と向かうべき方向性の明示等、専務理事として事務局長職とは異なる「なすべきこと」があるはずなので、専務理事の職務に専念してもらいたいとの要望が出された。

兵庫県・亀田評議員より、20秒ルールの適用について、J Dリーグでは20秒タイマーが設置・運用されているが、その他の大会においてどのような対応をすべきか、との質問が出された。

これに対し、西リーグ委員長よりリーグにおいては20秒タイマーを持つ、または借用できる主管協会では20秒タイマーを使用しているが、ない場合には日本協会より60秒の音楽CDを開催地に送付し、攻守交代の時間の目安とし、20秒ルールだけでなく試合のスピードアップに努めていることが説明された。ただ応援などでその音源が聞こえないこともあり、その対応について検討していることも報告された。

続いて神谷審判ルール委員長より20秒タイマーの表示がない場合の20秒の計測については、試合のスピードアップを目的としたルールであり、副審がストップウォッチで計測し、超えた場合に球審に伝達し、適用するといった方法

を審判委員会として伝達していることが説明された。表示がない場合にルール違反を取るのかどうかについては、ルールとして超えていることがストップウォッチで計測し、明確な場合は「ペナルティを課す」との見解が示された。

この説明に対し、亀田評議員より、その方法や運用について、さらに各地区、都道府県の協会に明確に伝達し、理解を深める努力をしてもらいたいとの要望が出された。

最後に、久下事務局次長以下、事務局員の紹介、併せて4月より新たに加わった金澤正之、今井優花、馬場優大、3名の事務局員の自己紹介が行われ、評議員会を閉会した。



4月より新たに事務局に加わった馬場雄大(右)、金澤正之(中央)、今井優花(左)、3名の事務局員

事務局だより

夏の全日本大会、到来！

4月に本格的なシーズン開幕を迎え、5月、6月と全国各地で熱戦が繰り広げられてきたが、7月以降はいよいよ「夏本番」に突入。

「ニトリ J.D. LEAGUE 2025」「第58回日本女子リーグ」「第54回日本男子リーグ」は前半戦を終了してサマーブレイクに入り、次は実業団クラブ、小学生、中学生、高校生、大学生のカテゴリー等が日本一の座を競う「全日本大会」が開催されることになる。

7月19日（土）～21日（月・祝）の日程で開催される「第65回全日本実業団男子選手権大会」「第46回全日本クラブ女子選手権大会」を皮切りに、「競技種別」「生涯種別」それぞれ大会ラッシュ。各試合会場で、今夏はどのような「ドラマ」に出会えるか……今から楽しみに待ちたい！

◎競技種別の大会日程はこちら
◎生涯種別の大会日程はこちら

